

2025年度 第4回 藤沢市立長後中学校 学校運営協議会
兼 学校評価委員会

2026年2月3日(火) 10:00-

長後中学校 会議室

参加：小菅、櫻田、鈴木、関水、松崎、山中、猪股、菅野
作道、安西、雲宮、公文、清川、橋本

次 第

1 会長あいさつ

2 授業参観、学年の様子

- <1年> 八ヶ岳に行ってきた。学校に来づらかった子が何人か参加できた。今後学習面にも力を入れていきたい。素直な子が多くそのまま育てていきたい。
- <2年> 職業体験を81事業所で行なった。保護者本人とともに「なかなかできない体験なのでとても良かった」とのこと。修学旅行は6月、京都奈良方面。今は平和学習に取り組んでいる。
- <3年> 受験直前、ほぼ全員進みたい道は決定している。あとは勉強するのみ。特別日課で映画鑑賞、卒業遠足など外に出ていく行事あり。

3 学校評価について、4意見交換

<生徒の回答について>

昨年度に比べて評価が高くなった部分：「学校は安全できれいである」

生徒の美化委員会が掃除のゆきとどき具合を競うものを企画したり、毎月の安全点検に生徒目線を参加させて指摘してもらい取り組みをはじめた。施設の老朽化で学校の修繕には限界があるが、なるべく綺麗に使っていききたい。と同時に、要望の多い生徒トイレの改修を要望していきたい。

昨年度に比べて評価が低くなった部分：「あなたは基礎基本を身につけるために努力している（学校でも家庭でも）」

昨年は「先生は基礎基本がわかるように授業をしている」という文言だったので下がったのではないか。いずれにしてもわかる授業を常に目指していきたい。

- ・ トイレが和式のみで古い、夏場は匂う、というのは地域住民や保護者が訴えた方がよいだろう。現に外トイレは洋式化が成った。

<保護者の回答について>

昨年度に比べて評価が高くなった部分：「お子さんは楽しく通っている」

職員としては大変にうれしい評価だ。

- ・ 同じ項目で「そうは思わない」と回答した1年生保護者が6.1%なのは多くないだろうか？
→昨年の1年生も5.6%だったので、学年が上がるにつれて下がっていく傾向にあるのかもしれない。
- ・ →子どもが初めて中学校にあがった保護者はわからないことだらけで不安が多い。そこをケアしていく必要があるだろう。

昨年度に比べて評価が低くなった部分：「先生方は子どもたちが楽しくわかる授業をしている」

この結果は結果として受けとめる。それとは別に楽しいだけでもだめだし、分かるけれど緊張するばかりの授業もよくない、ということは常に感じている。そして分からないと本当には

楽しくない。

- ・ 楽しくわかる授業をしているのか、は親としてはわからない。
- ・ →項目は変えられないがわかりやすい表現にすることは可能。
- ・ 授業に真剣によく取り組んでいる。長中のよさはクラスにいて一緒に勉強する雰囲気があるところ。子どもたちも安心しているのだろう。先生と生徒の関係が良い感じがする。

その他

- ・ 給食の時間が短いという意見が毎年でる。早く食べられない人もいる。
→昼食時間が終わっても食べられる。また、2,3年生になると時間は足りている様子。
- ・ 個人面談もあるし、毎日の観察で小さな変化を見つけてほしい。色々なタイプの子どもがいるので、声掛けの仕方も色々になるだろう。

5 連絡、その他

2026年度

第一回 学校運営協議会

5月11日(月) または 12日(火)

10:00 - 予定